



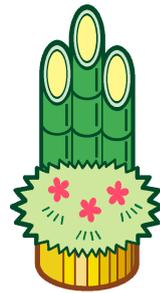
No. 14 令和2年 1月8日

## 南中だより

伊丹市立南中学校長 柳井 泰司

新年 あけまして おめでとうございます  
本年も どうぞ よろしくお願ひ申しあげます

「笑う角には福来たる」



# 「躍」

本年度もよろしくお願ひします。「漢字の日」は、その

年の世相を漢字一文字で表す師走恒例の「今年の漢字」が12月12日発表され、令和最初となる今年は「令」に決まりました。この日午後2時過ぎ、京都・清水寺で森清範貫主が縦150cm、横130cmの越前和紙に広島県産の熊野筆で力強く揮毫（きごう）しました。

私は一年を振り返り、2019年の漢字を「躍」としました。南中学校は創立70周年という節目を終え、林間学校、トライやる・ウィーク、修学旅行、体育大会、文化祭等の学校行事・学習・部活動等を通して、「文武両道」を目指し、生徒たちが飛躍した年だと感じました。そして、南中学校が今後も益々飛躍していくことを願っています。

また、「一年の計は元旦にあり」と言います。元旦と元日の違いですが、「元日」は年と月と日の3つの始まり、つまり「1月1日」を表わし、「元旦」は1年の初めの旦（あさ）のことで「1月1日の朝」のことを指します。1年の始まりを大切にしてください。

1年間の総まとめと来年度の学校運営に係る計画、学校評価を1月から進めていきます。今年度の教育活動を見直し、改善できる所は改善し、より良い教育活動が実践できるよう取り組みます。地域・保護者・学校の三者が繋がり合い、南中学校が今後も発展し、生徒の夢実現に向けて取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



## 「賀詞」のそれぞれの意味（雑学）

四文字の「賀詞」の代表例といえば「謹賀新年」と「恭賀新年」です。「謹賀新年」は「謹んで新年をお祝いいたします」、「恭賀新年」は「うやうやしく新年をお祝いいたします」という意味になり、両方とも自分をへりくだって表現している言葉です。二文字の「賀詞」の代表例には「賀正」「新春」「迎春」があり、それぞれの言葉の意味は「正月を祝います」「新しい年ですね」「新年を迎えましたね」というシンプルなものです。一文字では「賀」「寿」「福」などがありますが、どれも「おめでたいですね」という意味になります。

## 3学期 始業式 校長講話

令和2年1月8日（水）

みなさん、新年あけましておめでとうございます。3学期を迎え、皆さんの元気な顔を見ることができてうれしく思います。

さて、お正月では、「初春」という言葉をよく耳にします。「初春」とは「新年を迎えて」という意味で、元旦には「再生、再び生まれ変わる」という意味があります。大晦日から元旦を迎えると、気持ちの上で変化があると思います。「あけましておめでとう」は、新しい1年を頑張るという気持ちを皆に伝えることです。昔は数え年と言って、年が変わると1つ歳をとりました。だから日本人は元旦を大切にしています。多くの方が新年を迎え、新たな気持ちで頑張ろうと思っていると思います。ぜひその気持ちを大切にしてください。

最後に、3学期は4月から始まる1学期への準備の学期、すなわち0学期でもあります。常に次のステージの自分をイメージして、努力を怠らず、今の一步を確かな歩みにしてください。

これから厳しい冬の本番を迎えますが、各自健康には気をつけ、現実を直視し、「夢と希望」を大切に作る3学期にしてください。

以上で終わります。